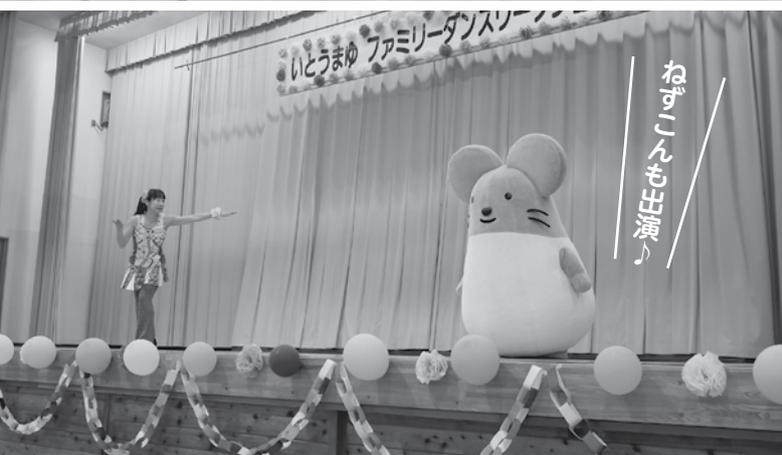


発行／坂城町公民館 発行人／柄澤 俊彦 編集／広報部 印刷所／(株)シーデンス
〒389-0602 長野県埴科郡坂城町中之条2468 文化センター内 (TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722)



❖主な内容❖

- ふるさと探訪 PART120 …… 2～3 P
- 公民館事業スタート …… 4 P
- 更埴地区短詩型文学祭表彰式 …… 5 P
- 行事、お知らせ、館説 開畝 …… 6～8 P

さかきふれあい大学教養講座
いとうまゆファミリーダンスワークショップ開催
 約170名が参加!! 大人も子供もダンシング♪
 (関連記事7P)

令和8年度 坂城町公民館事業スタート!

令和8年度の公民館事業がスタートしました。分館役員のみなさん、本館専門部のみなさんを紹介します。

本館専門部員のみなさん

専門部は、町公民館の事業をそれぞれ分担して企画立案し、公民館運営の要として活動します。

総務部

町公民館事業全体を検討し、推進します。

部長 柳沢 友紀 (月見)
副部長 池口 瑞樹 (中之条)
塚田 薫 (横町)
中澤 弘幸 (新町)

総務部

文化教養向上のため、文化事業を企画・運営します。

部長 山辺 浩志 (上平)
副部長 植木 正弘 (南日名)
西澤 務 (入横尾)
守屋 健作 (四ツ屋)

体育部

健康増進のため、体育事業を企画・運営します。

部長 春日 利徳 (日名沢)
副部長 宮澤 和宏 (御所沢)
伊藤 聡 (泉)
宮原 健史 (網掛)

広報部

公民館報を編集し、発行します。

部長 菊田 甫之 (新地)
副部長 近藤 滋 (上五明)
若林 治人 (立町)
酒井 博司 (苅屋原)

分館役員のみなさん

(敬称略)

分館	分館長	副分館長	文化部長	体育部長	広報部長
鼠宿	赤池 篤	片桐 公一	赤池 洋夫	上原 哲夫	齊藤 信二
新地	沢崎 茂実	細川 勝好	山本 朗	沢崎 修一	菊田 甫之
金井	塩入 郁夫	栗田 智之	岩橋 優	前澤 章宏	富山 英樹
入横尾	成沢 博文	神林 賢一	西澤 務	滝沢 利憲	浅井 隆志
町横尾	中村 宏幸	川島 善幸	関 和弘	池田 明生	竹内 慎
泉	佐々木靖雄	中村 寿雄	中村 寿雄	伊藤 聡	吉原 好文
中之条	池口 瑞樹	柳澤 憲志 高橋 正行	村西 陽子	橋本 昇	石井 賢治
四ツ屋	岸田 幸一	山田 徳夫	守屋 健作	林 隆行	竹鼻 裕司
戌久保	永井 隆博	竹内 豊	-	手塚 朋大	辰野 淳子
御所沢	小宮山俊夫	柳澤 一男	塩野入浩子	宮澤 和宏	林 美子
田町	宮下 啓司	滝沢 幸男	宮下 琴美	今井 幹矩	中島 悠
横町	塚田 薫	宮下 秀陣 宮原 司	宮崎 義也	池田 裕宣	宮下 秀陣
込山	常泉 光洋	小日向恒穂 片桐 拓磨	吉沢 雅弘	北村 浩一	岩浅 和仁
立町	高山 秀雄	久 聡紀 宮入 陽	立野 慧子	兒玉 芳明	若林 治人
旭ヶ丘	青木 建治	長谷川敏行	森垣 正代	長谷川敏行	井上 敬子
南日名	海野 幸治	金子 保典 海野 政義	植木 正弘	小宮山貴久	植木 正弘
北日名	西澤 喜幸	中沢 利光 中沢 啓吾	園原 哲也	関 哲也	西澤 英司
日名沢	佐藤 修一	丸山 岳志	萩原 研斗	春日 利徳	萩原 康子
大宮	小宮山正憲	田原 茂樹	吉崎 博明	布施 五郎	池田 文夫
新町	中澤 弘幸	池田 浩希	清水 浩樹	古谷 真弓	清水 浩樹
坂端	高橋 昇	竹内 博子	高橋 祐次	高橋 貴	大久保美紀
苅屋原	千野 博	小出 彰久	岸部美智代	西村 正国	酒井 博司
網掛	宮崎 昭二	金子 司	朝倉三智雄	宮原 健史	浅野井 靖
上五明	師田 秀喜	滝沢 元紀 滝沢 敏之	藤井 博美	石間 笑	近藤 滋
上平	村田 牧男	柳澤 定則	山辺 浩志	竹内 直子	朝倉 一樹
小網	赤池 邦浩	玉井 秀一	山崎 了	西澤 茂盛	吾妻 敏光
月見	柳沢 友紀	高島 晴夫	瀬在 恵一	神田 徳幸	島田 俊一

第30回更埴地区 短詩型文学祭表彰式

更埴地区公民館運営協議会(千曲市と坂城町で構成)主催の、第30回更埴地区短詩型文学祭表彰式が開催され、短歌の部、俳句の部、川柳の部、現代詩の部の各賞が決定し、表彰式が行われました。投稿数合計2,847作品のうち、坂城町の方の更埴地区短詩型文学祭大賞、更埴公民館運営協議会長賞、奨励賞、佳作、入選の受賞者を紹介します。

(敬称略)



一般の部

「短歌の部」

※更埴公民館運営協議会長賞
小宮山 洋子

◆佳作 横田 徳子
水出 秀子

◆入選 塩野入はる江
細谷 智恵子

「川柳の部」

◆佳作 春日 とよ子

◆入選 小宮山 洋子

「現代詩の部」

※更埴地区短詩型文学祭大賞
上原 みち子

◆佳作 石関 みち子

◆入選 小宮山 洋子
松澤 瑞枝

※更埴公民館運営協議会長賞
石関 みち子

中・高校生の部

「俳句の部」

※奨励賞
坂城高3年 小山 佳将

◆佳作 坂城高3年 宮坂 航旗

「現代詩の部」

◆佳作 坂城中2年 中村 叶音

小学生の部

「俳句の部」

※奨励賞
南条小4年 塚田 帆乃夏

◆佳作 坂城小5年 大谷 琉太朗

◆入選 村上小3年 井澤 廉

「川柳の部」

◆佳作 坂城小6年 西澤 諒
村上小6年 尾崎 ひまり

500メートルク

標高差のある地域に暮らして

鳥居 歩

私は、転勤族だったため栃木県の平野部と愛知県の半島で生活をしてきたことがあります。

休日には外で遊ぶことが多い我が家は、栃木県の時は近くの川で過ごすことが多く、愛知県の半島の際はほぼ標高差がなかったため海で過ごすことが多い生活でしたが、山が身近にある坂城で育った私には、見える景色に何か少し物足りなさを感じていました。

難しい環境でした。長野に帰省した際に、菅平や鹿沢、霧ヶ峰など標高が1,000メートル以上の所に行くと、当然ながら標高差を体感でき、また平野部と比較して気温も湿度も低いため、特に夏場は快適に過ごせました。

これら両県には標高が高い地域もあります。群馬県との県境だった栃木県の平野部から標高が高い日光や那須地域までは高速を利用して2時間程度、愛知の時は半島であるがゆえに、近場で標高差を求めるのは、

長野県出身の私にとって、この「標高差」は、リラックスする上でもとても大切な要素の1つだということ、何気なく見えている山々は当たり前ではなく、季節の変化を感じ取れることも含めて、ありがたい存在であることに気づきました。

これからも地元の自然に触れながら、この環境を大切に、子供たちに引き継いでいこうと思います。

―選者―
短歌の部
松林のり子
日語百合子
米澤 光人

俳句の部
青木くみ子
大井さち子
本山 流水

川柳の部
近藤 魁風
青山 鉄夫
小宮山正雄

現代詩の部
柳澤 澄
平野 光子
(敬称略)



第55回 坂城町 元旦マラソン大会

1月1日(木)、第55回坂城町元旦マラソン大会を開催しました。
明るく穏やかな日差しのもと、町内外から400名を超える方が参加しました。
入賞された方を紹介します。(敬称略)
なお、親子ペアについては、順位はありません。



◎6km 一般男子
1位 山岸 大智
2位 星野 誠歩
3位 吉池 琉仁

◎6km 一般女子
1位 成澤 沙喜
2位 南波 直美
3位 北原 亜純

◎6km 小学生男子
1位 小山 蒼生
2位 中村 健吾
3位 岩浅 陽斗



◎3km 一般
1位 成沢 尚希
2位 平林 篤
3位 東條 香樹

◎3km 小学生
1位 竹内 孝太
2位 大井 瑛太
3位 山岸 壮太

◎1.5km 小学生
1位 山岸 快仁
2位 弓納 颯大
3位 田中 功

ウォークラリー大会

11月8日(土)、村上地区にて、青少年健全育成交流会「ウォークラリー大会」を開催しました。

37チーム、約180名が参加し、ミニゲームやクイズなど、みんなで協力しあって、ゴールを目指しました。



第32回ライフステージエコー

11月29日(土)、坂城テクノセンターにて、第32回ライフステージエコーを開催し、約180名が来場されました。

今年は、新進気鋭のシンガー・ゴスペルディレクターが集まり結成された「ケシエットノーツ」の皆さんによる合唱が行われ、幅広い世代の方々が普段なかなか耳にすることのない音楽に魅了されていました。



第59回 坂城町席書大会・書初展

1月5日(月)～7日(水)、第59回坂城町席書大会・書初展を開催し、約30名が参加され、新年の決意など、筆に思いを込め、力強く筆を走らせていました。
書初展には、40作品が出品され、3日間で約100名の方に会場いただきました。入賞された方をご紹介します。(敬称略)

坂城町長賞

南条小2年 三橋 明日美



金賞

園児 宮下 莉緒
園児 西原 希子
坂城小1年 宮下 結衣
南条小6年 池田 琢人
高小 真柴 澄伶
高小 仙田 美月
高小 栗原 莉来
一般 小出 真生
一般 重倉 嶺
一般 鈴木 悠里

坂城町教育長賞

村上小5年 宮原 咲妃



坂城町書道協会長賞

村上小2年 小山 月菜



中学生の部金賞

坂城中2年 成澤 凜



銀賞

坂城小6年 赤地 莉彩
南条小3年 中澤あおい
南条小3年 赤池ちとせ
南条小5年 天田 梓沙
村上小4年 松下 心陽
村上小6年 中澤 心結
坂城中1年 仙田 祐月
坂城中1年 石倉 由麻
坂城中2年 松下 心玲
坂城中2年 重倉 凜

銅賞

坂城小6年 成澤 岳
南条小5年 清水愛結奈
南条小5年 山岸友梨香
南条小5年 天田 汐里
村上小3年 瀬在 華菜
村上小4年 中曽根恭子
村上小4年 小出 侑和
村上小5年 松木 杏奈



スキー・スノーボード教室

1月18日(日)、菅原高原にて、スキー・スノーボード教室を開催し、町の小学生32名が参加しました。

初めて、スキー・スノーボードを体験した児童も多し、すぐに上達し、ウィンタースポーツを思いっきり楽しんでいました。



子ども茶の湯教室

3月7日(土)、文化の館にて、子ども茶の湯教室を開催し、小中学生13名が参加しました。

礼の仕方や戸の開け方・閉め方、抹茶の点て方など、茶道の作法を学び、抹茶とお菓子をいただいたり、五感を通して茶道の世界を体験しました。



いとつまゆ ファミリーダンスワークショップ

2月1日(日)、文化センター体育館にて、さかきふれあい大学教養講座「いとつまゆファミリーダンスワークショップ」を開催し、約170名が参加されました。

元「おおかあさんといっしょ」のダンスのおねえさん、いとつまゆさんによる、ご家族で楽しめるダンスワークショップで、『からだ☆ダンダン』や『おどるポンポコリン』など、みんなが知っている人気の曲に合わせて、大人も子供も元気いっぱいに踊っていました。
途中、坂城町のゆるキャラ「ねずこん」と坂城町スポーツ推進委員が登場し、「しゅりけんにんじゃ」と一緒に踊り、会場を沸かせていました。



公民館文化講座

令和8年度公民館文化講座の受講生を募集します。全講座初心者を対象としています。
なお、複数の講座の受講もできます。

書道	古文書	短歌	茶(表千家)道	茶(裏千家)道	木彫	コーラス
俳句	絵画	郷土料理	季節の	詩を楽しむ	自主講座 陶芸	自主講座 盆栽

※陶芸教室は、自主講座として再開します。
申込開始 4月3日(金)から
 ※年度途中からの受講も可能です。
申込先 坂城町公民館(文化センター内)
 ※申込書は、公民館にあります。受講料を添えてお申し込みください。
受講料 3,000円
開講式 4月10日(金) 午後7時から
 坂城町文化センター 大会議室
 ※講座の進め方などの打ち合わせを行いますので、必ず出席してください。
 ※詳しくは、「まなびの玉手箱」をご覧ください。

キッズスポーツ教室

軽運動や楽しいゲームなどで基礎的な身体づくり、コミュニケーションづくりをする講座です。

日時 毎週水曜日 17:00~18:00(年間30回)
 5月13日(水)から翌年3月中旬(予定)
会場 文化センター体育館
指導者 長野体育指導センター 指導員
対象 4・5歳児
受講料 15,000円
定員 30名
申込開始 4月7日(火)から
申込先 教育文化課生涯学習係(文化センター内)
 ※詳しくは、「まなびの玉手箱」をご覧ください。



春の合同お茶会

～気軽に楽しむ和の心～

日時 4月29日(水・祝) 9:30~15:00
会場 坂城町文化の館
茶券 1,200円(当日券1,500円)
茶席 本席:表千家 野点席:裏千家
申込先 教育文化課生涯学習係(文化センター内)
お問い合わせ 電話 82-2069



さかき歴史同好会 総会記念講演会

日時 4月19日(日)
 13:30~15:30
会場 町立図書館 集会室(2階)
講演 『坂城とその周辺の旗塚』
講師 町田 ゆかり 先生(旗塚研究家)
入場料 無料 ※申込不要
主催 さかき歴史同好会
後援 坂城町公民館・坂城町文化協会
お問い合わせ 82-2490(吾妻)

二十歳のつどい 実行委員募集

8月15日(土)に開催を予定している「第71回二十歳のつどい」の実行委員を募集しています。一生に一度の二十歳の思い出をつくりませんか♪
 ご興味のある方は、坂城町公民館(文化センター内)(82-2069)までご連絡ください。
 該当者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの方です。

ライフ・ステージエコー 実行委員募集

令和8年度のライフ・ステージエコーは11月28日(土)坂城テクノセンターで開催を予定しております。
 本コンサートの企画・運営にご協力をいただける実行委員を募集しております。
 ご興味のある方は、教育文化課生涯学習係(82-2069)までご連絡ください。

説 開 歌

各地区では、年に何回かお祭が行われていることと思います。入横尾区では、年間に6回のお祭があります。
 3月観音堂のお祭には、参拝者にお札とお団子が配られます。また、秋葉神社の祭事も併せて行われます。
 4月は速素彦鳴神社春季例大祭で神事が執り行われます。
 5月には2つのお祭があります。蚕影神社天照皇大神宮のお祭は、山の登り口に参拝場を設けていますが、以前は山の上の祠付近で参拝したそうです。浅間神社(下の山の神)のお祭は、薄焼きを持ち寄ってお祭を行います。
 9月の速素彦鳴神社秋祭は、子ども神輿が区内を練り歩きます。また、神事に併せて伊勢音頭・獅子舞の披露も行われます。
 そして12月の年末に速素彦鳴神社歳旦祭があり、一年の締めくくりとなります。
 9月の秋祭は一番盛大なお祭で、子ども神輿が賑やかに区内を巡り、伊勢音頭では、公民館役員の綺麗なお姉さま方に交じって、中学生の皆さんも一緒に踊りを披露してくれます。区の皆さんもたくさん訪れてお祭を一緒に楽しみ、見守ってくれています。
 参拝者の少ないお祭もありますが、区の役員の皆さんを中心に伝統を受け継ぎ、大切にお守りしている行事であると感じています。